Bチーム活動報告（11月～12月）

　2021年11月に新チームが誕生し、これまでのカテゴリーから新Ｂチームとしての活動が始まりました。各カテゴリーは「選手が最も成長できる場所」と定義付けております。また、Ｂチームの目標は、Ａチームに入ることではなく、「Ａチームに入りトップチームで活躍すること」です。この目標が変わることはありません。12月28日で蹴り納めをすることができ、2021年もあと僅かです。大きな節目を迎えこれまでのＢチームの活動について振り返りたいと思います。

　11月のテーマは学年毎に設定しました。２年生は「これまでリーグ戦を通じて経験した事を、どれだけチームに還元できるか」、１年生は「その２年生を通じて、チームとは何か、サッカーとは何かを感じる事」でした。また、学年関係なくコミュニケーションが取れるように、名前を呼び合うことも目標のひとつでした。この1か月で2年生の取り組みは悪くはありませんでしたが、言われたことを伝えるに過ぎず、自分たちで必要なことを作り出すまでには至りませんでした。１年生は一つ一つの取り組みに雑さが目立ちましたが、それぞれのサッカーに対する情熱が伝わってきました。

　1か月の準備期間が過ぎいよいよ本格的にチーム作りの12月となりました。サッカーについて、攻撃は「ビルドアップ」、守備は「中盤の守備」のテーマで取り組みました。また、「チームを第一に考え行動する」ことを念頭に置いて取り組んできました。

ミーティングを計８回行うことができたのでここで簡単にご紹介します。

【渡辺ミーティング】

　・関係性レベル０

お互いを改めて知る。関係の質、思考の質、行動の質、結果の質の循環を知り高める。

　・関係性レベル１

　　自己の評価と他者の評価。

　・思考の質０.５

　　思考の質を高めるとは何か。ウェイトの曼荼羅チャートで実践。

【今井ミーティング】

　・11月の振り返りと個人目標の確認（２年生）

　・チームを作るために必要なこと（１年生）

　・チームメイトとの関わりについてとその覚悟（２年生）

　・明星戦ビデオミーティング①

　・明星戦ビデオミーティング②

　練習試合では、堀越、片倉、実践学園、明星学園というハイレベルなチームとやれたことはとても勉強になりました。そして、これまでの取り組みを披露する場がＳＤＧ杯2021です。国分寺高校と久我山高校と２日間におけるカップ戦を行いました。各チーム２チームに分かれて予選リーグと順位決定リーグを行いました。ＳＤＧチーム②が見事２位に輝きましたが、ＳＤＧチーム①は残念ながら６位でした。久我山高校はＴ２に入る選手がメインで、レベルが高いサッカーに魅了されましたが、必死に喰らいつき2-０で勝つ試合もありました。しかし、まだまだ自分たちが目標にしているＡチームで活躍するまでのレベルに全員が到達していないこともわかりました。その一つには、自らが考え判断し、その判断をチームに伝えることができていないことでした。これは、普段から自分に甘く、言われたことを何となくやってきた証拠だと思います。大事な勝負を戦える者は、日々の勝負を戦ってきた者だけです。しかし、少しずつきっかけが作れたようにも感じます。ＳＤＧ杯2日目は空いている時間をそれぞれのチームがボードを使って自分たちでミーティングをしていました。試合中も試合後も必死に言い合っていました。少なくともこの２日間は戦っていたと思います。

　この2か月は、強豪校との練習試合や、トレーニングには多くのスタッフが関わってくれています。Ｂチームの環境はＡチームより恵まれております。その環境に感謝の気持ちを忘れてはいけません。ＳＤＧ杯では保護者の方々からの応援も頂きました。非常に嬉しく思い、また身の引き締まる思いにもなりました。2021年も充実した2か月で締めくくることができましたが、「終わり良ければ総て良し」ということわざは昭和第一学園サッカー部には通用しません。常に向上心を持ち、成功体験を獲得するまで戦い続けます。

そして、2022年がとても楽しみです。

昭和第一学園サッカー部

今井 崇量・渡辺 雄大